

情報開示の項目

設置者に関する情報

- ①設置者の名称及び主たる事務所の所在並びに連絡先
宮崎県教育委員会
〒880-8502 宮崎県宮崎市橘通東2丁目10番1号
- ②法人の代表者名
宮崎県知事 河野 俊嗣
- ③福祉系高等学校以外の実施事業
割愛
- ④財務諸表（設置者が法人の場合）
割愛

福祉系高等学校に関する情報

- ①名称、住所及び連絡先
宮崎県立小林秀峰高等学校 全日制課程 福祉科
〒886-8506 宮崎県小林市水流迫664番地の2
TEL 0984-23-2252
- ②福祉系高等学校等の校長の氏名
中村 正宏
- ③開設年月日
平成21（2009）年4月1日
- ④学則等
事項より

「宮崎県立小林秀峰高等学校 学校規則」

1 設置目的

教育基本法、学校教育法及び建学の精神に基づき、中学校における教育の基礎の上に心の発達及び進路に対して、高度な普通教育及び専門教育を施すことを目的とする。
また、小林秀峰高等学校における介護福祉士養成課程（以下介護福祉士養成課程という）は学則に定める他、本規定の定めるところによる。

2 名称

宮崎県立小林秀峰高等学校

3 設置位置

小林秀峰高校福祉科（〒886-8506 宮崎県小林市水流迫 6 6 4 番地の 2）

4 課程及び修業年限

課程：全日制課程 修業年限：3 年

5 設置学科及び定員

教科「福祉」に関する学科	福祉科（40名）		
教科「農業」に関する学科	農業科（40名）		
教科「工業」に関する学科	機械科（41名）	電気科（40名）	
教科「商業」に関する学科	商業科（40名）	経営情報科（40名）	
	1 学年定員合計	6 クラス	241 名

6 学期及び休業日

学期は次の三学期に分ける。

第一学期	4 月 1 日から	8 月 28 日まで
第二学期	8 月 29 日から	12 月 31 日まで
第三学期	1 月 1 日から	3 月 31 日まで

休業日は次のとおりとする。

- (1) 国民の祝日に関する法律に規定された休日
- (2) 日曜日・土曜日
- (3) 春季休業日…………… 4 月 1 日から 4 月 7 日まで
- (4) 夏季休業日…………… 7 月 21 日から 8 月 25 日まで
- (5) 冬季休業日…………… 12 月 24 日から 1 月 6 日まで
- (6) 学年末休業日…………… 3 月 23 日から 3 月 31 日まで

※長期休業中の福祉科の介護実習日については授業日とする。

7 養成課程及び履修方法

- (1) 介護福祉士国家試験資格取得のため、「社会福祉士介護福祉士指定規第八条一（別表第五）に定める養成課程を置くこととする。
- (2) 生徒は教育課程の定めるところにより、規定された科目をすべて履修（必修）し、修得しなければならない。
- (3) 前項の科目と単位数は次のとおりとする。

（単位数は 52 単位：授業時間数は 1820 時間）

	科目名	単位数	授業時間数
福祉	社会福祉基礎	4 単位	1 4 0 時間
	介護福祉基礎	5 単位	1 7 5 時間
	コミュニケーション技術	2 単位	7 0 時間
	生活支援技術	9 単位	3 1 5 時間
	介護過程	4 単位	1 4 0 時間
	介護総合演習	3 単位	1 0 5 時間
	介護実習〔臨地実習〕	1 3 単位	4 5 5 時間
	こころとからだの理解	8 単位	2 8 0 時間
公民	現代社会	2 単位	7 0 時間
家庭	家庭基礎	2 単位	7 0 時間
	総 数	5 2 単位	1 8 2 0 時間

※入学後 3 カ年間の教育過程表・・・別表

8 入学資格

入学することのできる者は、中学校若しくはこれに準ずる学校を卒業した者、若しくは中学校教育学校の前期過程を修了した者又は施行規則第 9 5 条の規定により、これと同等以上の学力が認められた者とする。

（宮崎県高等学校管理運営規則第 1 6 条）

9 入学者の選考

入学者の選抜にあたっては、宮崎県高等学校入学者選抜検査実施要綱に則って実施し、選考委員会で審議し、校長が決定する。

10 入学手続き

入学者選抜により合格した者は、誓約書及び住民票の抄本に入学料を添え校長の指定した期日までに、校長に提出しなければならない。

（宮崎県高等学校管理運営規則第 1 9 条）

11 休学、復学、退学、卒業

(1) 休学

①病気その他やむを得ない理由により休学しようとする生徒は、保護者と連署した休学願を校長に提出し、その許可を得なければならない。

②前項に規定する休学の期間は、一年以上一年以内とする。ただし、特例の事情のある場合には、期間を通算して二年まで延長することができる。

③校長は①の規定により休学を許可した場合において、一月を経過しないうちにその理由が消滅したと認められるときは、休学の許可を取り消すことができる。

(宮崎県高等学校管理運営規則第40条)

(2) 復学

休学中の生徒が復学しようとするときは、保護者と連署した復学願を校長に提出し、その許可を受けなければならない。

(宮崎県高等学校管理運営規則第42条)

(3) 退学

退学しようとする生徒は、保護者と連署した退学願を校長に提出し、その許可を受けなければならない。

(宮崎県高等学校管理運営規則第43条)

(4) 卒業認定

卒業認定は、校長が当該高等学校所定の全課程を修了したと認めた者について、これを行う。

12 学習の評価

生徒の成績評価は、担当教員の評価及び意見並びにその他の資料に基づき、学習指導要領に示されている各教科の目標を基準として、校長が行う。

(宮崎県立高等学校管理運営規則第27号)

13 入学検定料、入学料、実習費等

入学検定料 2, 200円

入学料 5, 650円

実習費等 40, 000円

14 教職員の組織

本校には、地教行法第31条1項に基づき、校長、教頭、事務長、教諭をおく。

その他、養護教諭、実習助手、事務主査、主任主事等をおく。

なお、福祉科の専門教育に携わる職員は、社会福祉士及び介護福祉士養成学校指定規則第8条の規定を満たすよう有資格教諭をおく。

15 賞罰

(表彰)

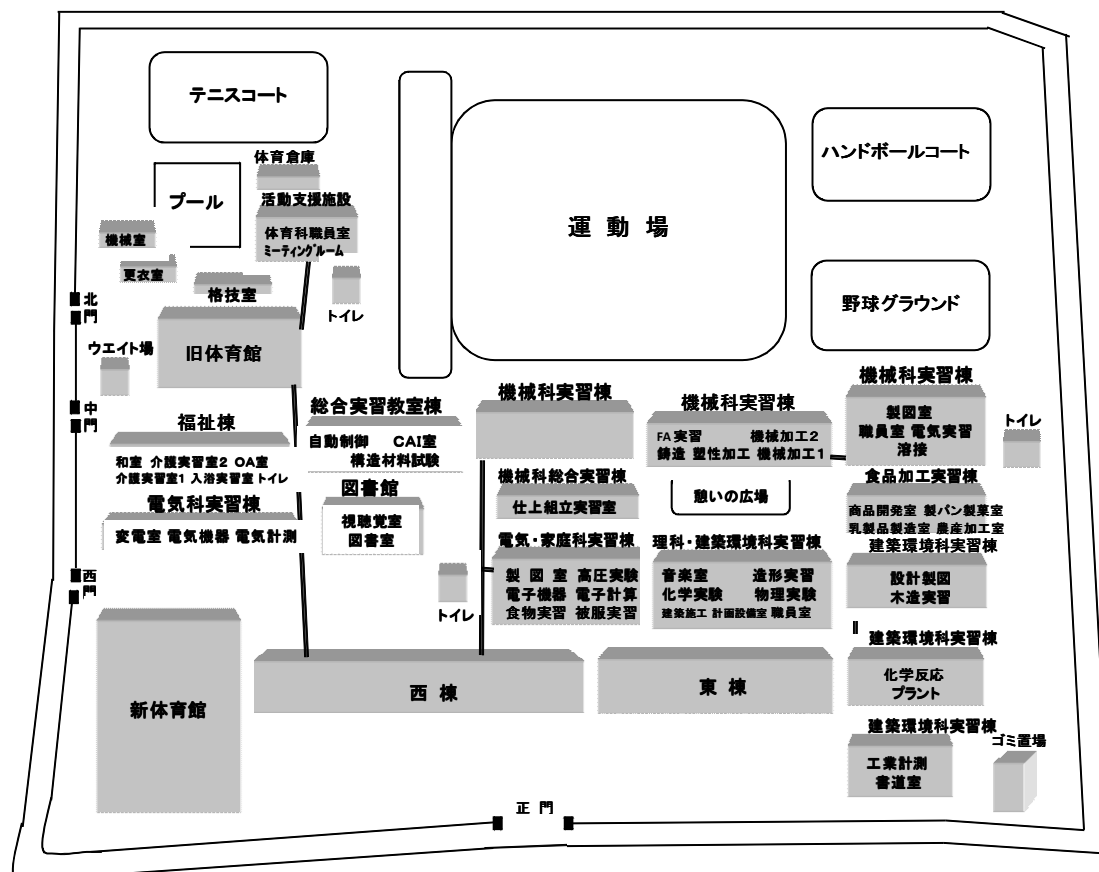
校長は、学業、人物その他について優秀な生徒を表彰することができる

(懲戒)

- ①校長及び職員は、教育上必要があると認めるときは、生徒に懲戒を加えることができる。ただし、体罰を加えることができない。
- ②前項の懲戒を加えるにあたっては、生徒の意見の聴取や心身の発達に応ずる等教育上必要な配慮をしなければならない。
- ③懲戒のうち、退学、停学および訓告の処分は、校長がこれを行う

⑤施設設備の概要（図書の数を含む）

位置及び校舎配置図



使用教室の名称及び面積など

教室等の名称	面積	備考	教室等の名称	面積	備考
普通教室 1	56.7 m ²	H19 完成	介護実習室 1	125.08 m ²	
普通教室 2	56.7 m ²	H19 完成	介護実習室 2	125.08 m ²	
普通教室 3	56.7 m ²	H19 完成	和室	21.68 m ²	
選択教室 1	58.5 m ²	H19 完成	入浴実習室	93.93 m ²	
選択教室 2	58.5 m ²	H19 完成	調理実習室	118.0 m ²	
選択教室 3	58.5 m ²	H19 完成	被服実習室	154.0 m ²	
事務室	57.0 m ²		図書室	169.0 m ²	
保健室	59.8 m ²				

図書館蔵書数 約 18,600 冊

教育課程に関する情報

①養成課程の教育課程表

平成23年度入学生教育課程表「福祉科」

	教科	科目	標準単位	1年	2年	3年	合計
普通 教科	国語	国語表現Ⅰ	2			2	2
		国語表現Ⅱ	2				0
		国語総合	4	2	2		4
	地理歴史	世界史A	2			2	2
		地理A	2		2		2
	公民	現代社会(選択科目)	2	2			2
	数学	数学Ⅰ	3	3			3
		数学基礎	2			2	2
		数学A	2		2		2
	理科	理科総合A	2	2			2
		理科総合B	2			2	
		化学Ⅰ	3				0
		生物Ⅰ	3				
	保健体育	体育	7~8	2	2	3	7
		保健(1代替)	2	1			1
	芸術	音楽Ⅰ	2	2			2
		美術Ⅰ	2				
		書道Ⅰ	2				
	外国語	オーラルコミュニケーションⅠ	2			2	2
英語Ⅰ		3	2	2		4	
英語Ⅱ		4				0	
家庭	家庭基礎(選択科目)	2		2		2	
普通教科の単位小計				16	12	13	41
専門 教科	福祉	社会福祉基礎	4	2	2		4
		介護福祉基礎	5	2	3		5
		コミュニケーション技術	2		2		2
		生活支援技術	9	2	3	4	9
		介護過程	4			4	4
		介護総合演習	3	1	1	1	3
		介護実習	13	3	5	5	13
		こころとからだの理解	8	2	2	4	8
		福祉情報活用	2	2			2
専門教科の単位数計				14	18	18	50
特別活動	ホームルーム活動	3	1	1	1	3	
総合的な学習の時間			3				0
履修単位数合計				31	31	32	94
備考							
※「こころとからだの理解」により「保健」1単位を代替する。							
※総合的な学習の時間は「介護総合演習」の履修をもって代替							

②定員

40名

③入学までの流れ

宮崎県教育委員会HPをご覧ください。

なお、本校に関する資料は

宮崎県立小林秀峰高等学校全日制課程福祉科

〒886-8506 宮崎県小林市水流迫 664 番地の 2

TEL 0984-23-2252

④費用

生徒1人あたりの費用

費目	第1学年	第2学年	第3学年	合計
入学検定料	2,200			2,200
入学金	5,650			5,650
授業料	0	0	0	0
実習費	9,840	12,740	12,740	35,320
施設維持費	0	0	0	0
その他諸費 学校負担金 ・PTA会費 ・生徒会費 ・教育後援会費 ・修学旅行立費 等含む	224,865	93,925	73,565	392,335
合計	262,555	106,665	86,305	455,525

⑤教員数、科目別担当教員名

	氏名	担当科目	資格・免許
必置教員 (教務に関する主任者には、氏名の前に◎印 領域「介護」「こころとからだのしくみ」に必要な教員には○印)	◎◎ 菊知 一恵	社会福祉基礎／介護福祉基礎／ コミュニケーション技術／生活支援技術 ／介護過程／介護総合演習／介護実習／ こころとからだの理解／福祉情報活用	「福祉」 教員免許 看護師
	○ 長野 美希	社会福祉基礎／介護福祉基礎／ コミュニケーション技術／生活支援技術 ／介護過程／介護総合演習／介護実習／ こころとからだの理解／福祉情報活用	「福祉」 教員免許
	松本 京子	社会福祉基礎／介護福祉基礎／ コミュニケーション技術／生活支援技術 ／介護過程／介護総合演習／介護実習／ こころとからだの理解／福祉情報活用	「福祉」 教員免許
	三宅 靖子	社会福祉基礎／介護福祉基礎／ コミュニケーション技術／生活支援技術 ／介護過程／介護総合演習／介護実習／ こころとからだの理解／福祉情報活用	「福祉」 教員免許
	瀬海 圭子	社会福祉基礎／介護福祉基礎／ コミュニケーション技術／生活支援技術 ／介護過程／介護総合演習／介護実習／ こころとからだの理解／福祉情報活用	「福祉」 教員免許
	前田 典子	社会福祉基礎／介護福祉基礎／ コミュニケーション技術／生活支援技術 ／介護過程／介護総合演習／介護実習／ こころとからだの理解／福祉情報活用	「福祉」 教員免許
その他の教員	垂水 由美子	家庭基礎	「家庭」教員免許
	大久保裕一	数学A	「数学」教員免許
	矢野 隆司	現代社会	「地理」教員免許
	坂本 安代	家庭基礎	「家庭」教員免許

⑥使用する教材等

中央法規出版	新・介護福祉士養成講座 1	「人間の理解」
中央法規出版	新・介護福祉士養成講座 2	「社会と制度の理解」
中央法規出版	新・介護福祉士養成講座 3	「介護の基本Ⅰ」
中央法規出版	新・介護福祉士養成講座 4	「介護の基本Ⅱ」
中央法規出版	新・介護福祉士養成講座 5	「コミュニケーション技術」
中央法規出版	新・介護福祉士養成講座 6	「生活支援技術Ⅰ」
中央法規出版	新・介護福祉士養成講座 7	「生活支援技術Ⅱ」
中央法規出版	新・介護福祉士養成講座 8	「生活支援技術Ⅲ」
中央法規出版	新・介護福祉士養成講座 9	「介護過程」
中央法規出版	新・介護福祉士養成講座 10	「介護総合演習・介護実習」
中央法規出版	新・介護福祉士養成講座 11	「発達と老化の理解」
中央法規出版	新・介護福祉士養成講座 12	「認知症の理解」
中央法規出版	新・介護福祉士養成講座 13	「障害の理解」
中央法規出版	新・介護福祉士養成講座 14	「こころとからだの理解」

⑦科目別シラバス

⑧介護実習施設等の名称、住所及び事業内容

施設名及び施設種	所在
デイサービスセンター えびの涼風園	宮崎県えびの市大字岡松149番地1
美穂の里 デイサービスセンター	宮崎県小林市須木大字下田1152番地
高城園 デイサービスセンター	宮崎県都城市高城町穂満坊3416番地
高崎苑 デイサービスセンター	宮崎県都城市高崎町縄瀬1622番地17
きりしまの園 デイサービスセンター	宮崎県西諸県郡野尻町大字三ヶ野山4336番地74
みやま園 デイサービスセンター	宮崎県西諸県郡高原町大字蒲牟田7348番地2
あさぎり園 デイサービスセンター	宮崎県都城市山田町中霧島2546番地6
陽光の里 通所介護デイサービスセンター	宮崎県小林市大字真方5038番地1
霧島荘 (特別養護老人ホーム) デイサービスセンター	宮崎県都城市山之口町花木2406番地1
都城市庄内 デイサービスセンター	宮崎県都城市庄内町8673番地
グループホーム 顔なじみ	宮崎県えびの市大字榎田579番地36
グループホーム むつみ	宮崎県西諸県郡野尻町大字三ヶ野山4336番地74
グループホーム みやま荘	宮崎県西諸県郡高原町大字蒲牟田7351番地2
グループホーム 朝霧	宮崎県都城市山田町中霧島2531番地7
認知症高齢者グループホーム ひだまり	宮崎県小林市大字真方5038番地1
特別養護老人ホーム えびの涼風園	宮崎県えびの市大字岡松143番地
特別養護老人ホーム あけぼの園	宮崎県えびの市大字榎田579番地10
特別養護老人ホーム 美穂の里	宮崎県小林市須木大字下田1152番地
特別養護老人ホーム 高城園	宮崎県都城市高城町穂満坊3416番地

特別養護老人ホーム 高崎苑	宮崎県都城市高崎町繩瀬1622番地17
特別養護老人ホーム さりしまの園	宮崎県西諸県郡野尻町大字三ヶ野山4336番地74
特別養護老人ホーム みやま園	宮崎県西諸県郡高原町大字蒲牟田7348番地2
特別養護老人ホーム あさぎり園	宮崎県都城市山田町中霧島2546番地6
特別養護老人ホーム 陽光の里	宮崎県小林市大字真方5038番地1
特別養護老人ホーム 霧島荘	宮崎県都城市山之口町花木2406番地 1
特別養護老人ホーム 白寿園	宮崎県都城市庄内町8673番地
介護老人保健施設 さくら苑	宮崎県えびの市大字大河平4327番地37
介護老人保健施設 すこやかセンターこばやし	宮崎県小林市大字細野2033番地
介護老人保健施設 すこやか苑	宮崎県都城市大岩田町5812番地
介護老人保健施設 みずほ	宮崎県小林市大字真方87番地
介護老人保健施設 さくら苑	宮崎県えびの市大字大河平4327番地37
介護老人保健施設 すこやかセンターこばやし	宮崎県小林市大字細野2033番地
介護老人保健施設 すこやか苑	宮崎県都城市大岩田町5812番地
介護老人保健施設 みずほ	宮崎県小林市大字真方87番地
身体障害者療護施設 野菊の里	宮崎県小林市大字堤2173番地1
介護老人保健施設 さわやかセンター	宮崎県小林市堤3008番地 1
介護老人保健施設 相愛苑	宮崎県小林市北西方種子田原66-3
グループホーム ゆうゆう	宮崎県小林市北西方種子田66-3
グループホーム ひなもり	宮崎県小林市大字堤4380番地

ひなもり園 デイサービスセンター	宮崎県小林市大字堤4380番地
介護老人保健施設 さわやかセンター	宮崎県小林市堤3008番地 1
介護老人保健施設 相愛苑	宮崎県小林市北西方種子田66-3
特別養護老人ホーム ひなもり園	宮崎県小林市大字堤4380番地1

⑨介護実習の内容及び特徴

1. 介護実習の目標

介護に関する体験的な学習を多様な介護の現場において行い、知識と技術を統合させ、介護従事者としての役割を理解させるとともに、適切かつ安全な介護ができる実践的な能力と態度を育てる。

- ①個々のリズムや個性を理解するという観点から様々な生活の場において個別ケアを理解し、利用者・家族とのコミュニケーションの実践、介護技術の確認、他職種協働や関係機関との連携を通じてチームの一員としての介護福祉士の役割について理解する。
- ②個別ケアを行うために個々の生活リズムや個性を理解し、利用者の課題を明確にするための利用者ごとの介護計画の作成、実施後の評価やこれを踏まえた計画の修正といった介護過程を展開し、他科目で学習した知識や技術を統合して、具体的な介護サービスの提供の基本となる実践力を習得する。

実習施設事業等（Ⅰ）

利用者の生活の場である多様な介護現場において、利用者の理解を中心とし、これに併せて利用者・家族との関わりを通じたコミュニケーションの実践、他職種協同の実践、介護技術の確認等を行うことに重点を置く。

実習施設事業等（Ⅱ）

一つの施設・事業等において一定期間以上継続して実習を行う中で、利用者ごとの介護計画の作成、実施後の評価やこれを踏まえた計画の修正といった一連の介護過程のすべてを継続的に実践することに重点を置く。

2. 介護実習の内容・特徴

(1) 介護実習の種類

- 介護実習Ⅰ ①見学実習：1年生・・・4日間
 ②介護実習：1年生・・・8日間
 2年生（前期）・・・10日間
- 介護実習Ⅱ ③介護実習：2年生（後期）・・・10日間
 3年生（前期）・・・10日間
 3年生（後期）・・・10日間

(2) 実習時間

1日の実習時間：原則として午前8：00～午後17時までの9時間
 （休憩60分含む）

	実習区分・時期	実習内容
1年生	実習Ⅰ ①7月に4日間 ②3月に8日間	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の概要を理解する ・施設で働く職員の業務の内容とそれぞれの役割について理解する。 ・日常生活の基本的な介護技術の必要性を知る。 ・利用者理解につながる基本的なコミュニケーション能力を養う。 ・介護とは何かを考える契機とし、今後の学習・実習への意欲を高める。
2年生	実習Ⅰ ①7・8月に10日間 実習Ⅱ ②10月に10日間	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者一人ひとりに合わせたコミュニケーション能力を養う。 ・利用者の自立を支援するための基本的な介護技術を習得する。 ・施設で働く介護福祉士の介護業務内容を理解するとともに介護福祉士としての職業倫理や役割についても理解する。 ・介護福祉士と関連職種との連携について学習する。 ・利用者のニーズに関する理解力・判断力を養う。
3年生	実習Ⅱ ①6月に12日間 ②8月に8日間	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者やその家族の個別性に応じたコミュニケーションを図るとともに信頼関係を築く力を身に付ける ・個々の生活リズムや個別性を理解した上でその人に合った介助を実践する。 ・利用者のニーズを把握し、介護過程を展開する力を養う。 ・利用者の自己実現やQOLの向上を目指した援助のあり方について探求しようとする姿勢を養う。

平成23度 シラバス < 福祉 >

科目名	社会福祉基礎	単位数	2単位	対象クラス	福祉科1年
科目の目標	1 社会福祉に関する基礎的な知識を身につけ、理解を深めます。 2 現代社会における社会福祉の意義や役割について理解します。 3 人間の尊厳の認識を深めながら、社会福祉の向上を図る能力と態度を身につけます。				
使用教科書	「社会福祉基礎 新訂版」(実教出版) 新・介護福祉士養成講座「人間の理解」(中央法規)				
使用副教材	「五訂 介護福祉用語辞典」(中央法規)				
評価の方法	定期考査、学習課題の提出物、単元小テスト結果、学習態度、出欠状況等により、総合的に判断して評価します。 平常点2割、定期テスト8割を基準とする。				
授業の進め方 ・履修上の注意	① 毎時間の授業では、本時のテーマと目標を示しますので、何を学ぶのかを明確にし、積極的に参加しましょう。 ② 授業では、プリントに沿って行いますので、板書したことはもちろん、それ以外の説明等もしっかりと書き込みましょう。 ③ 教科書や授業等で分からない専門用語があれば、介護福祉用語辞典を活用し、調べましょう。 ④ 単元ごとの小テストは、定期テストにつながりますので、真剣に取り組みましょう。 ⑤ 日頃からニュースを見たり、新聞に目を通すなど、日本の現状や福祉問題に興味・関心を持って生活しましょう。				
めざす 資格・検定	・介護福祉士国家資格(3年次)				
留意点	・授業プリントは、ファイルに綴じて確実に保存して下さい。(3年次の国家試験受験対策の際、使用します)				

平成23年度 シラバス < 福祉 >

科目名	介護福祉基礎	単位数	2単位	対象クラス	福祉科 1年
科目の目標	<p>①介護を必要とする人の尊厳の保持や自立支援など介護の意義と役割を理解します。</p> <p>②介護を適切に行う能力と態度を身につけます。</p>				
使用教科書	新・介護福祉士養成講座 「介護の基本Ⅰ」「介護の基本Ⅱ」(中央法規)				
使用副教材	介護福祉用語辞典(中央法規)				
評価の方法	定期考査、学習課題の提出物、小テスト、授業態度、出欠状況等により、総合的に評価する。 平常点2割、定期テスト8割を基準とする。				
授業の進め方 ・履修上の注意	<p>① 授業ではプリントを活用しながら学習を進めます。授業に集中して取り組み、板書の内容だけでなく、口頭説明の内容等も記入しながら理解を深めましょう。</p> <p>② 单元ごとの小テストを実施します。しっかり勉強して取り組み、確実に習得していきましょう。</p> <p>③ 分からない専門用語は、辞書を使って積極的に調べましょう。</p> <p>④ 日ごろから新聞やニュースに関心を持ち、福祉に関する情報や問題の把握に努めましょう。</p>				
めざす 資格・検定	介護福祉士国家資格(3年次)				
留意点	<p>・授業プリントは、ファイルに綴じて、確実に保存して下さい。</p> <p>3年次の国家試験受験対策の際使用します。</p>				

平成23度 シラバス < 福祉 >

科目名	生活支援技術	単位数	2単位	対象クラス	福祉科 1年
科目の目標	1 自立を尊重した生活を支援するための介護の役割を理解します。 2 基礎的な介護の知識と技術を習得します。 3 様々な介護場面において適切かつ安全に支援できる能力と態度を身につけます。				
使用教科書	新・介護福祉士養成講座「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」 (中央法規)				
使用副教材	「介護福祉士国家試験 実技試験のチェックポイント2011」(中央法規)				
評価の方法	定期考査(筆記・実技)、学習課題の提出物、単元小テスト結果、学習態度、出欠状況等により、総合的に判断して評価します。平常点2割、定期テスト8割を基準とする。				
授業の進め方・履修上の注意	① 毎時間の授業では、本時のテーマと目標を示しますので、何を学ぶのかを明確にし、積極的に参加しましょう。 ② 授業は座学と実技を組み合わせ進めていきます。 ③ 授業中分からない専門用語があれば、介護福祉用語辞典を活用し、調べましょう。 ④ 介護技術の実習では、実習服に着替えて授業を受けますが、その際、身だしなみには十分に留意しましょう。 ⑤ 介護技術は、習得するために、何回も繰り返し練習しましょう。				
めざす資格・検定	・介護福祉士国家資格(3年次)				
留意点	・授業プリントは、ファイルに綴じて確実に保存して下さい。(3年次の国家試験受験対策の際、使用します)				

平成23年度 シラバス < 福祉 >

科目名	介護総合演習	単位数	1単位	対象クラス	福祉科 1年
科目の目標	<p>①介護演習や事例研究などの学習を通して、専門的な知識と技術の深化、統合化を図ります。</p> <p>②課題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てます。</p>				
使用教科書	新・介護福祉士養成講座 「介護総合演習・介護実習」(中央法規)				
使用副教材	介護福祉用語辞典(中央法規)				
評価の方法	学習課題の提出物、レポート、介護演習、事例研究、授業態度、出欠状況等により、総合的に評価する。 介護実習の事前指導・事後指導の中でも評価を行う。				
授業の進め方 ・履修上の注意	<p>①授業は実習の事前指導、事後指導も含みます。授業の内容をしっかりと確認して学習を進めましょう。</p> <p>②演習や事例研究、調査など実践的な学習に積極的に取り組みましょう。</p> <p>③分からない専門用語は、辞書を使って積極的に調べましょう。</p>				
めざす 資格・検定	介護福祉士国家資格(3年次)				
留意点	・授業プリントは、ファイルに綴じて、確実に保存して下さい。				

平成23年度 シラバス < 福祉 >

科目名	介護実習	単位数	5単位	対象クラス	福祉科 1年
科目の目標	<p>①介護に関する体験的な学習を多様な介護の現場において行い、知識と技術を統合させ、介護従事者としての役割を理解します。</p> <p>②介護に関する体験的な学習を多様な介護の現場において行い、適切かつ安全な介護ができる実践的な能力と態度を育てます。</p>				
使用教科書	新・介護福祉士養成講座 「介護総合演習・介護実習」(中央法規)				
使用副教材	介護福祉用語辞典(中央法規)				
評価の方法	学習課題の提出物、実習記録、レポート、実技テスト、定期テスト、出欠状況等により、総合的に評価する。				
授業の進め方 ・履修上の注意	<p>①社会福祉施設等における介護実習には積極的に取り組みましょう。</p> <p>②実習記録やレポートは確実に仕上げ、期日内に提出しましょう。</p> <p>③介護総合演習と関連しながら進めますので、授業内容をきちんと把握しましょう。</p>				
めざす 資格・検定	介護福祉士国家資格(3年次)				
留意点	・実習記録は、ファイルに綴じて、確実に保存して下さい。3年間分の記録を保存します。				

平成23年度 シラバス < 福祉 >

科目名	こころとからだの理解	単位数	2単位	対象クラス	福祉科 1年
科目の目標	<p>①自立生活を支援するために必要なこころとからだについての基礎的な知識を習得します。</p> <p>②習得した基礎的な知識を「生活支援技術」と関連させて介護実践に適切に活用できる能力を育成します。</p>				
使用教科書	新・介護福祉士養成講座 「こころとからだのしくみ」「発達と老化の理解」(中央法規)				
使用副教材	介護福祉用語辞典(中央法規)				
評価の方法	定期考査、学習課題の提出物、小テスト、授業態度、出欠状況等により、総合的に評価する。 平常点2割、定期テスト8割を基準とする。				
授業の進め方 ・履修上の注意	<p>① 授業ではプリントを活用しながら学習を進めます。授業に集中して取り組み、板書の内容だけでなく、口頭説明の内容等も記入しながら理解を深めましょう。</p> <p>② 単元ごとの小テストを実施します。しっかり勉強して取り組み、確実に習得していきましょう。</p> <p>③ 分からない専門用語は、辞書を使って積極的に調べましょう。</p> <p>④ 日ごろから新聞やニュースに関心を持ち、福祉に関する情報や問題の把握に努めましょう。</p>				
めざす 資格・検定	介護福祉士国家資格(3年次)				
留意点	<p>・ 授業プリントは、ファイルに綴じて、確実に保存して下さい。</p> <p>3年次の国家試験受験対策の際使用します。</p>				

平成23年度 シラバス < 福祉 >

科目名	福祉情報活用	単位数	2単位	対象クラス	福祉科1年
科目の目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 社会福祉分野における記録や個別支援計画作成、福祉情報の検索などの役割について理解します。 2 情報活用に関する基礎的な知識や技術を習得します。 3 情報社会における情報モラルとネットワークセキュリティ管理の重要性について理解し、情報手段を主体的に活用する能力を身につけます。 				
使用教科書	「福祉情報処理」(実教出版)				
使用副教材	なし				
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査(実技、筆記)、授業態度、出欠状況等により総合的に判断し評価します。 ・平常点2割、定期テスト8割を基準とします。 				
授業の進め方 ・履修上の注意	<ol style="list-style-type: none"> ① 理論と実技を連動させながら学習します。 ② 実技ではOA室利用し、情報処理の基礎的な技術を身につけます。 ③ クラス全員が11月のワープロ実務検定受験し、目指す級への合格を目標に取り組みます。 ④ 介護実習時のレポート作成や記録等を行います。 				
めざす 資格・検定	<ul style="list-style-type: none"> ・「ワープロ実務検定」(全員) (目指す級は能力に応じて設定します) 				
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント保存用のファイルを用意して下さい。 				

